

シンポジウム

主題：官民学の連携によるコウノトリ野生復帰事業の推進

日時：9月20日（日）15:15～18:00

場所：兵庫県立大学 神戸商科キャンパス 三木記念講堂

コーディネーター：江崎保男・大迫義人（兵庫県立大学）

趣旨：兵庫県におけるコウノトリの野生復帰事業は、2005年から開始され2015年で10年を迎えます。この事業は、人と自然が共生する地域づくりを共有コンセプトとし、アダプティブマネジメントの手法をもちいたコウノトリ野生個体群の再生を目標としています。2010年までの試験的な放鳥・導入を経て、現在は、2011年に策定され、本格的野生復帰を目指した短・中期計画と野生復帰の最終ゴールをまとめた「コウノトリ野生復帰ランドデザイン」に基づいて進められています。そこで、この10年間の成果について、生態学的、応用生態工学的、社会学的、地域計画的、行政的観点からの報告と、本格的野生復帰に向けた課題、官民学の連携、地域資源としての利活用等についてパネルディスカッションを行います。

次第：

15:15～15:30 江崎保男（兵庫県立大学）「コウノトリ野生復帰の10年：保護から生物多様性保全へ」

15:30～16:30 「兵庫県但馬地方での野生復帰事業の進展」

大迫義人（兵庫県立大学）「再導入コウノトリの行動と生態」

佐川志朗（兵庫県立大学）「コウノトリの餌動物の推定と豊岡の環境整備の進展」

宮垣 均（豊岡市）「コウノトリとともに暮らすということ」

山本一浩（国土交通省）「円山川の治水対策と自然再生のとりくみ」

16:30～16:50 長谷川雅美（東邦大学）「野田市での野生復帰事業の進展」

16:50～17:00 休憩

17:00～18:00 パネルディスカッション「コウノトリの活用による生物多様性の保全と復元」

コーディネーター：江崎保男

パネリスト：長谷川雅美・佐川志朗・宮垣 均・野口 隆（国土交通省）・水谷瑞希（信州大学，前福井県）・西村いつき（兵庫県）・上田尚志（コウノトリ市民研究所）

口頭発表

19日午前 A会場(101講義室)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
行動	9:00	A01 カッコウは托卵する際、なぜ卵を取り除くのか？	○三上修(北海道教育大学函館校), 佐藤望, 上田恵介, 田中啓太(立教大・理)
行動	9:15	A02 ヒゲペンギンの繁殖行動の雌雄差	○森貴久(帝京科学大学), 國分互彦, 高橋晃周(極地研)
行動	9:30	A03 ウミネコオスによる産卵前の配偶者防衛行動の効果とコスト	○風間健太郎(日本学術振興会, 名城大・農), 浅井綾加(山形大・院理工), 風間麻未(岐阜県世界淡水魚園水族館)。神藤定生(名城大・理工), 新妻 靖章(名城大・農), 綿貫 豊(北大水産)
9:45			休憩
行動	10:00	A04 モズのサブソングの複雑さは、雄の質の良さの指標なのか	○西田有佑, 高木昌興(大阪市立大・理・動物機能生態研)
行動	10:15	A05 北西太平洋でのまぐろはえ縄漁業における海鳥類の釣餌へのアプローチ行動と混獲回避装置に対する反応	○越智大介, 南浩史(水研セ国際水研)
系統・形態・分類	10:30	A06 鳥島で繁殖しているアホウドリのマイクロサテライトDNA解析	○泉洋江, 江田真毅(北大・総博), 渡辺ユキ(阿寒国際ツルセンター), 今野怜, 今野美和(帯広市), 佐藤文男(山階鳥研・保全)
10:45			休憩
系統・形態・分類	11:00	A07 小笠原諸島におけるカラスバト <i>Columba janthina</i> の亜種間交雑の初記録とその進化的意義	○安藤温子(国立環境研究所), 小川裕子(多摩動物公園), 鈴木創, 堀越和夫(小笠原自然文化研究所), 中原文子(京都市動物園), 川上和人(森林総合研究所), 井鷲裕司(京都大, 農学研究科)
系統・形態・分類	11:15	A08 日本産鳥類の生物地理学的パターン再考: クラスター分析を用いた構造解明とブートストラップ法による信頼性評価	○山崎剛史(山階鳥類研究所)
系統・形態・分類	11:45	A09 リュウキュウコノハズクの現在と過去と未来	○高木昌興(大阪市立大学大学院), 齋藤武馬(山階鳥類研究所)

19日午前 B会場(102講義室)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
生態	9:00	B01 衛星追跡で明らかとなったコクガンの国内における春の渡りと分布	○嶋田哲郎(伊豆沼財団), 土方直哉(慶応大), 時田賢一(岩手大), 内田 聖(我孫子市), 呉地正行(雁を保護する会), 杉野目 斉(仙台市役所), 山田由美(慶応大), 樋口広芳(慶応大)
生態	9:15	B02 カラス類の親鳥が長期間にわたりヒナ(幼鳥)へ給餌した観察事例について	○中村真樹子(NPO法人札幌カラス研究会)
生態	9:30	B03 コチドリの繁殖場所、番相手への執着	○内田博(比企野生物研究所)
9:45			休憩
生態	10:00	B04 カワウ営巣地におけるアオサギによる非侵襲的餌略奪	○土屋健児(元名城大・農), 風間健太郎, 新妻靖章(名城大・農)
生態	10:15	B05 海鳥における繁殖タイミングと非繁殖期の活動パターンがその後の繁殖成績に及ぼす影響	庄子晶子, Tim Guilford (Oxford University), Stéphane Aris-Brosou (University of Ottawa)
生態	10:30	B06 タンチョウにおけるつがいダンスの機能	○武田浩平, 沓掛展之(総研大・先導研)
10:45			休憩
生態	11:00	B07 クマタカ <i>Spizaetus nipalensis orientalis</i> は本当になわばりを構えるのか?	○阿部學, 山岸学, 中島拓也(ラプタージャパン・日本猛禽類研究機構)
生態	11:15	B08 コウノトリのなわばり社会—フローター—の存在がなわばり所有者に与える影響—	○野口真磨子, 江崎保男(兵庫県立大学・院・地域資源マネジメント研究科)
生態	11:45	B09 新潟県福島潟で初確認されたセイタカシギの繁殖活動	千葉晃(日本歯科大・新潟生命歯学部)

19日午後 A会場(101講義室)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
系統・形態・分類	13:00	A10 日本からのアメリカコアジサシ <i>Sternula antillarum</i> の初記録	○茂田良光, 藤井幹, 佐藤達夫, 小田谷嘉弥, 奴賀俊光
系統・形態・分類	13:15	A11 ハチクマはハチの攻撃をどう防いでいるかーとくに羽毛の糸状微粒子の役割についてー	○樋口広芳(慶應大・政策メディア), 時田賢一(岩手大・農), 長井和哉(岩手大・農), 内田聖(里山自然史研), 中山文仁(自然環境研), Holly Sievwright(Field Studies Council, UK)
系統・形態・分類	13:30	A12 インコ類の羽毛に見られる赤色異常と構造色の発色メカニズムの検討	○森本元(山階鳥類研究所, 立教大・理), 眞田直子, 眞田靖幸(小鳥の病院BIRD HOUSE)
系統・形態・分類	13:45	A13 硫黄列島のメジロとヒヨドリの系統地理学的位置	○杉田典正(科博・動物, 国立環境研・生物), 川上和人(森林総研), 西海功(科博・動物)
14:00			休憩
系統・形態・分類	14:15	A14 同一堆積物上におけるコウノトリの足跡計測 ~印跡動物はいつでも典型的な足跡を残すか~	○田中郁子(神戸大学), 江崎保男(兵庫県立大学), 佐藤稔(兵庫県立コウノトリの郷公園), 山崎和仁(神戸大学), 兵頭政幸(神戸大学)
系統・形態・分類	14:30	A15 北東アジアに生息するハシブトガラスの比較形態的分析 後氷期における再植民と多様化	中村純夫(independent)
系統・形態・分類	14:45	A16 青森県尻屋地域より産出した更新世海鳥類化石	○渡辺順也, 松岡廣繁(京都大・院理・地質学鉱物学教室)

19日午後 B会場(102講義室)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
生態	13:00	B10 瀬戸内海西部海域におけるカムリウミスズメと餌資源	○藤井格, 藤井香織(生物群集研究所), 橋口大介(野生生物保全研究所), 鈴木淳司(アジア航測株式会社)
生態	13:15	B11 あの頃はヤマセミがいた ~新潟県佐渡島における鳥類種の分布の変化~	○中津弘, 永田尚志(新潟大・朱鷺・自然再生学研究センター), 近藤敬一, 近藤健一郎, 土屋正起, 長尾俊一(日本野鳥の会佐渡支部)
生態	13:30	B12 営巣環境と時期がオオヨシキリの餌内容に与える影響	○笠原里恵, 下村晃大, 上田恵介(立教大・理)
生態	13:45	B13 風力発電建設における鳥類の事前調査手法の検討	○森口紗千子, 向井喜果, 小町亮介, 坂本大地, 出口翔大(新潟大・自然), 高橋雅雄, 東信行(弘前大・農学生命), 関島恒夫(新潟大・自然)
14:00			休憩
生態	14:15	B14 サシバ分布北限でのサシバとノスリの繁殖分布の関係	○藤田剛(東大・農), 東淳樹(岩手大・農)
生態	14:30	B15 フクロウの巣箱を使った放射能の生態系への影響調査	○西海功, 樋口亜紀(国立科学博物館・動物)
生態	14:45	B16 再導入されたトキの繁殖に影響を与える要因の予備解析	○永田尚志(新潟大学・CTER)

21日午前 A会場(101講義室)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
系統・形態・分類	9:00	A17 嘴の黄色いやつは若輩者か？ スズメの嘴について	○玉田克巳(道総研), 池田徹也(道衛研), 泉洋江(北大総合博物館)
渡り	9:15	A18 風力発電施設による猛禽類への障壁影響	○浦達也, 荒哲平(日本野鳥の会), 植田睦之(バードリサーチ)
渡り	9:30	A19 オオタカの雄はお気に入りの雌とつがいになれない？	阿部學, ○山岸学, 中島拓也
9:45			休憩
渡り	10:00	A20 鳥装着用生体センサ付きトランシーバの開発	○北野利彦, 中田薫, 秦順一, 中島功(東海大学), 尾崎清明(山階鳥類研究所)
渡り	10:15	A21 秋の渡り期におけるホオジロ属3種の捕獲に音声誘引がもたらす効果	○千田万里子, 出口智広, 米田重玄, 茂田良光, 佐藤文男, 吉安京子, 仲村昇, 富田直樹, 尾崎清明(公益財団法人・山階鳥類研究所・保全研究室)
渡り	10:30	A22 ジオロケータを用いたブッポウソウの渡り追跡 2(鳥取・岡山の繁殖個体)	○仲村昇, 桐原桂介(米子水鳥観察館), 黒田聖子(岡山大・院)
10:45			休憩
生理	11:00	A23 飼育コアホウドリにおける飢餓に対する生理学的な応答	○井上裕紀子(国際水研・水研セ), 香山薫(伊豆・三津シーパラダイス), 新妻靖章, 鷺見知美(名城大・農), 五島渉, 吉川尚基(伊豆・三津シーパラダイス), 西村進之介(名城大・農), 越智大介, 勝又信博, 岡本慶, 南浩史(国際水研・水研セ)
生理	11:15	A24 雌雄ニホンライチョウにおける生殖内分泌に関する調査の試み	○山本彩織, 楠田哲士, 土井守(岐阜大・応用生物科学), 中村浩志(信州大・教育)
教育	11:30	A25 ガンカモ飛来地の給餌活動によって起こるリスクの検討	小泉伸夫(農研機構・動物衛生研究所)
その他	11:45	A26 帝室博物館鳥類標本コレクションの海外産標本のツールを探る	○小林さやか(山階鳥類研究所, 北大農D), 加藤克(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)

21日午前 B会場(102講義室)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
生態	9:00	B17 8年間の研究からわかったケリ個体群の季節的動向	○脇坂英弥(兵庫県立大・環境人間), 江崎保男(兵庫県立大・地域資源マネジメント)
生態	9:15	B18 巣箱の中を調べてみたら……シジュウカラ・苔・蛾・蜂の関係	○濱尾章二(国立科博・動物), 樋口正信(国立科博・植物), 神保宇嗣(国立科博・動物), 前藤薫(神戸大・院・農), 古木香名(茨城県つくば市)
行動	9:30	B19 キビタキの羽色が伝達する情報と繁殖地における機能	○岡久雄二(立教大・理, 自然環境研究センター), 佐々木礼佳(立教大・理), 小西広視(鳥類標識協会), 高木憲太郎(バードリサーチ), 森本元(立教大・理, 山階鳥類研究所), 上田恵介(立教大・理)
9:45			休憩
音声	10:00	B20 リュウキュウサンコウチョウの雄における局所的スケールでの方言分布特性	○櫻井有昌瑚, 大井沙綾子, 田中健太, 植村慎吾, 浜地歩(大阪市大・院理・動物機能生態), 仲地邦博(宮古野鳥の会), 高木昌興(大阪市大・院理・動物機能生態)
保全	10:15	B21 ヤンバルクイナとその近縁種の保全状況	○尾崎清明(山階鳥類研究所), 永田尚志(新潟大学)
保全	10:30	B22 風力発電所建設工事による鳥類の繁殖密度への影響(大型車両通行の影響)	○武田恵世(日本野鳥の会・三重県)
10:45			休憩
保全	11:00	B23 中山間地における水田の耕作放棄がノジコの生息環境に与える影響	○出口翔大(新潟大院・自然研), 石原通裕, 箕口秀夫(新潟大・農)
保全	11:15	B24 野生のシマフクロウを見せることは希少種保全に貢献するのか?	早矢仕有子(札幌大)
保全	11:30	B25 知床ウトロ海域におけるケイマフリの生息数の推移と保護活動について	福田佳弘(知床海鳥研究会)

ポスター発表

発表番号が奇数 19日(16:15-18:15)

発表番号が偶数 20日(10:00-12:00)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
系統・形態・分類	P001	遺跡出土資料による過去のウミスズメ科鳥類相復元に向けて	○稲田薫(北大院・理), 江田真毅(北大・総博)
系統・形態・分類	P002	アホウドリ2集団の交雑	○江田真毅・泉洋江(北大・総博), 渡辺ユキ(阿寒国際ツルセンター), 今野怜, 今野美和(帯広市), 佐藤文男(山階鳥研・保全)
系統・形態・分類	P003	亜種ダイウコノハズクにおける性的二型と給餌行動の関係	○麻生成美, 中西啄実, 岩崎哲也, 高木昌興(大阪市大・院理・動物機能生態)
系統・形態・分類	P004	カンムリウミスズメの遺伝的多様性と集団遺伝構造	○小田谷嘉弥(鳥の博物館), 佐藤文男, 富田直樹(山階鳥研), 本多正尚(筑波大・生命環境系)
系統・形態・分類	P005	形態的特徴から考えるノスリの分類の再検討の必要性	○伊関文隆(希少生物研究会), 吉岡俊朗
系統・形態・分類	P006	外洋性海鳥の体サイズの種内地理変異	○山本誉士(名古屋大院・学振PD), 河野裕美, 水谷晃(東海大・沖縄地域研究センター), 依田憲, 松本祥子(名古屋大院), 河邊玲(長崎大・環東シナ海セ), 渡辺伸一(福山大), 岡 奈理子(山階鳥研), 佐藤克文(東大大気海洋研), 山本麻希(長岡技大), 須川恒(龍谷大), 狩野清貴(網野高校), 塩見こずえ(極地研), 米原善成(東大大気海洋研), 高橋晃周(極地研)
系統・形態・分類	P007	スズメの歩行と尾羽を上げる行動の関連性についての検証	○山崎優佑
系統・形態・分類	P008	盆石の尖羽根は初列風切ではなく初列大雨覆でした。	○下坂玉起(生き物文化誌学会), 川口敏(香川生物学会)
系統・形態・分類	P009	潜水性鳥類の血管構造	○岩見恭子, 福田勝洋(山階鳥類研究所)
系統・形態・分類	P010	ツバメの喉の部分白化の出現頻度について	○山本裕((公財)日本野鳥の会), 佐藤信敏(佐藤信敏写真事務所)
系統・形態・分類	P011	新潟県のカワウのねぐらコロニーの分散経時変化と人為的攪乱の影響	○川畑龍平, 佐藤高, 藤田達也, 山本麻希(国立長岡技術科学大学)
系統・形態・分類	P012	日本鳥類目録の分類体系はなぜ変わったか? まだ変わるのか?	山崎剛史・西海功, ○平岡考, 亀谷辰朗, 齋藤武馬(鳥類分類委員会)
系統・形態・分類	P013	ウグイス亜種の系統関係について	○浅井芝樹, 茂田良光(山階鳥類研究所)・梶田学(無所属), 佐藤文男, 岩見恭子, 小林さやか, 齋藤武馬(山階鳥類研究所)
系統・形態・分類	P014	マガモ雄の巻羽は尾羽? それとも上尾筒?	○川口敏(香川生物学会), 下坂玉起(生き物文化誌学会)
系統・形態・分類	P015	カワウの後肢における機能解剖学的研究	市川美和(岡山理科大・院)
系統・形態・分類	P016	九州におけるカササギの二次移入の可能性の検証	○森さやか(酪農大), 江口和洋(国東市), 長谷川理(エコ・ネットワーク), 西海功(科博)
理論・数理	P017	トカラ列島におけるイジマムシクイの繁殖分布と営巣環境	○関伸一(森林総研・関西)
理論・数理	P018	フランスアルザス地方におけるシュバシコウの再導入の試みから見えてくるもの	千葉有紀子(龍谷大学・政策学研究科特別専攻生)
生態	P019	京都府南部・南山城地方に於ける希少鳥類の生息状況	○中川宗孝, 脇坂英弥, 上野きよ子・箕輪義隆(環境生物研究会)
生態	P020	リュウキュウサンコウチョウ <i>Terpsiphone atrocaudata illex</i> の羽色タイプと繁殖成功の関係	○大井沙綾子(大阪市大・院理), 仲地邦博(宮古野鳥の会), 田中健太, 櫻井宥昌瑚, 高木昌興(大阪市大・院理)
生態	P021	札幌圏のカラス標識調査からみえてきたこと	○竹中万紀子(東海大北海道・生物), 中村真樹子(札幌カラス研究会), 福井大祐(NPO・EnVision環境保全事務所, 札幌カラス研究会)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
生態	P022	渡りの途中に換羽するコムケドリが近畿地方中部の広範囲に滞在する	○奥田幸江, 奥田幸男
生態	P023	越冬期におけるカモ類の日本国内での性比と地理的傾向	○神山和夫(バードリサーチ), 笠原里恵(立教大学・理)
生態	P024	木曾川下流域周辺におけるケリの分布の季節変化	○秋田滉介, 伊藤健吾(岐阜大・院)
生態	P025	北海道東部の太平洋上におけるコシジロアジサシの観察記録	○千嶋淳(NPO法人日本野鳥の会十勝支部, NPO法人エトピリカ基金, 浦幌野鳥倶楽部), 片岡義廣(NPO法人エトピリカ基金), 久保清司(NPO法人日本野鳥の会十勝支部, 浦幌野鳥倶楽部), 長雄一(NPO法人日本野鳥の会十勝支部, NPO法人エトピリカ基金, 北海道立総合研究機構環境科学研究センター), 青木則幸(NPO法人エトピリカ基金)
生態	P026	出水で越冬しているナベヅル標識個体の行動追跡調査	○溝口文男, 宮崎泰子(出水のツルと野生生物研究会)
生態	P027	神戸市西区一帯におけるヒクイナの生息個体数のモニタリング ²	○渡辺美郎, 平野敏明(バードリサーチ)
生態	P028	セグロセキレイとハウセキレイにおける順位の変化について	○平野敏明(バードリサーチ)
生態	P029	都市におけるオオタカの育雛期の給餌内容 -東京23区北西部の1事例-	○水村春香, 一ノ瀬友博(慶應大・環境情報), 樋口広芳(慶應大・院・政策メディア)
生態	P030	オジロワシはなぜ風車に衝突するのか?	○谷口綾, 島田泰夫(日本気象協会), 植田睦之(バードリサーチ)
生態	P031	ソウシチョウの一腹卵数の季節変化	○東條一史, 中村秀哉
生態	P032	都市公園における通行者の数がシジュウカラの営巣場所選択に与える影響	出口翔大(Bio Connect, 新潟大院 自然研), 浅野涼太(Bio Connect, (株)アール・ケー・イー), ○小川龍司(Bio Connect, にいがた野鳥の会), 富岡洋亮(Bio Connect, 新潟大・農), 佐藤悠子(にいがた野鳥の会)
生態	P033	カワウの繁殖期 コロニー成立時から10年間の繁殖期の経年変化	○奥田幸男, 奥田幸江
生態	P034	ハヤブサFalco peregrinusの行動圏面積と利用環境特性	阿部學, ○中島拓也, 山岸学
生態	P035	アカコッコの繁殖期の行動圏とその変化	○手嶋洋子, 田尻浩伸, 佐藤智寿(公益財団法人日本野鳥の会・保全プロジェクト推進室), 山本裕(公益財団法人日本野鳥の会・自然保護室), 内藤明紀, 大久保香苗, 江崎逸郎, 小林豊(公益財団法人日本野鳥の会・保全プロジェクト推進室)
生態	P036	ササゴイの撒き餌漁と捕食される魚種	○岡本浩太郎(熊本大・院・自然), 逸見泰久(熊本大・沿岸域セ)
生態	P037	針葉樹人工林におけるカラ類3種の給餌頻度と周辺環境の関係	○近藤崇, 早瀬晴菜, 肘井直樹(名古屋大・生命農・森林保護)
生態	P038	移住者ヤマガラに移住初期の環境選好と先住者シジュウカラへの影響	○藤田 薫(バードリサーチ/東邦大), 藤田 剛(東大), 樋口広芳(慶応大)
生態	P039	大湍村におけるアリスイの食物選択	○橋間清香(秋田大), 加藤貴大(総研大), 上田恵介(立教大)
生態	P040	アマヤマシギの森林内における日周活動の季節変化	○小高信彦(森林総研・九州), 鳥飼久裕(奄美野鳥の会)
生態	P041	ヒシクイの捕食圧が湿生群落に与える効果について	○大河原恭祐(金沢大・自然システム・生物), 田尻浩伸((財)日本野鳥の会)
生態	P042	越後平野の水田におけるコハクチョウの採食地選択	渡辺朝一
生態	P043	ヨーロッパヒメウの採餌場所選択に自身と番相手の餌獲得量が影響するか?	○伊藤元裕, 高橋晃周(極地研), 小暮潔央, 佐藤克文(東大), Francis Daunt(英国CEH)
生態	P044	ツミAccipiter gularis 3ペアの比較	○畑隆弘(株式会社ブラック研究所), 小森谷由紀

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
生態	P045	瀬戸内海におけるオオミズナギドリ <i>Calonectris leucomelas</i> の繁殖成功率に影響を与える要因とは？	○上田健悟, 渡辺伸一(福山大学・院), 飯田智彦(広島県教育委員会)
生態	P046	生駒山系北部におけるフクロウ <i>Strix uralensis</i> の繁殖状況	○谷川智一(枚方いきもの調査会), 上久保真里, 村上亮(日本鳥類標識協会), 古園由香(日本鳥類標識協会), 熊代直生(日本鳥類標識協会)
生態	P047	北海道十勝平野のノスリとオオタカにおける巣利用の特徴	○平井克亥, 柳川久(帯広畜産大学・野生動物管理理学研究室)
生態	P048	音声認識技術を用いたオオタカの鳴き声調査の可能性検討	○今村史子, 徳江義宏(日本工営株式会社中央研究所)
生態	P049	アカガシラカラスバトの音声レパートリーの特徴について	○神谷菊子, 岡田あゆみ, 岸本和也, 松本翔一(北里大学・動物生態学), 鈴木創, 堀越和夫(IFO), 神門英夫, 坂下涼子(恩賜上野動物園), 金城輝雄((公財)沖縄こどもの国), 進藤准治(北里大学・野生動物学)
生態	P050	越冬期におけるチュウヒの全国一斉個体数調査と長期モニタリングの試み	○多田英行(日本野鳥の会岡山県支部), 平野敏明(認定NPO法人バードリサーチ)
生態	P051	神奈川県におけるオオタカの行動圏内の環境構成	○夏川遼生(慶應大・環境情報), 一ノ瀬友博(慶應大・環境情報, 慶應大・院・政策メディア), 樋口広芳(慶應大・院・政策メディア)
生態	P052	日本最北のケリ繁殖個体群の繁殖状況	高橋雅雄(弘前大学・農学生命)
生態	P053	極相林では、鳥の種数は多いか少ないか？一和歌山県における鳥類相の林相間比較	○岩本二郎(和歌山県立自然博物館)
生態	P054	市民科学によるカササギ調査:30年間持続の鍵は何か？	○黒沢令子(バードリサーチ), 堀本富宏(日本野鳥の会室蘭支部), 平野敏明(バードリサーチ), 長谷川理(エコ・ネットワーク)
生態	P055	開発におけるオフサイトインパクトの把握のための猛禽類の利用	○先崎理之(北大農院), 山浦悠一(森林総研植生), 中村太士(北大農院)
生態	P056	広島県の鳥「あび」の個体数変化とその要因	○藤井香織, 藤井格(生物群集研究所)
生態	P057	富士山北麓のクロジの繁殖環境	西教生(都留文科大学)
生態	P058	堺市鉢ヶ峰における1993年から2008年にかけての鳥類群集の変化	○楠瀬雄三(エコシステムリサーチ, ひとく地域研究員), 福井亘(京都府大・院)
生態	P059	ダイウコノハズクの個体群動態 ~非繁殖個体も含めた動態の理解~	○岩崎哲也, 中西啄実, 澤田純平, 麻生成美, 高木昌興(大阪市大・院理・動物機能)
生態	P060	ツバメは減っているのか？一全国調査から見えてきたこと一	○荒哲平, 葉山政治, 伊藤加奈, 景山誠, 篠木秀紀(公益財団法人 日本野鳥の会)
生態	P061	市街地で繁殖するフクロウ類の給餌内容(予報)	○橋本啓史(名城大), 太田貴大(長崎大), 長谷川泰洋(森林総研)
生態	P062	カムリウミスズメの巣への出入り時刻と個体数調査方法の検討	○田尻浩伸, 手嶋洋子, 佐藤智寿(公益財団法人 日本野鳥の会・保全プロジェクト推進室), 山本裕(公益財団法人 日本野鳥の会・自然保護室)
生態	P063	オガサワラノスリの行動圏と巣内育雛期の給餌物	○葉山雅広(東北鳥類研究所小笠原支部), 野中純(オオタカ保護基金)
生態	P064	リュウキュウアカショウビン <i>Halcyon coromanda bangsi</i> の巣箱誘致の可能性	○浜地歩, 植村慎吾, 田中健太, 仲地 邦博(宮古野鳥の会), 高木昌興(大阪市立大学大学院理学研究科)
生態	P065	排泄物のサイズでガンカモ類の種類が見分けられるか？	○中村雅子(国環研), 牛山克己(宮島沼水鳥・湿地セ), 嶋田哲郎((財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全)森口沙千子(新潟大院・自然科学), 矢部徹(国環研)・相崎守弘(茨城県霞ヶ浦環境科学セ)
生態	P066	函館市内に流れる亀田川の存在は市内の鳥類多様性にどれくらいの影響を与えているか	○中川優奈, 三上修(北海道教育大学函館校)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
生態	P067	日本国内各地のクマタカ <i>Nisaetus nipalensis</i> の繁殖成功率	○長谷川啓一, 上野裕介, 大城温, 井上隆司(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
生態	P068	アオサギの集団繁殖地で繁殖を始めたダイサギの繁殖経過とその要因	白井剛(アオサギ-ネット)
生態	P069	まちななかで鳥がいる場所いない場所	○三上かつら(バードリサーチ), 三上修(北海道教育大学函館校)
生態	P070	ブッポウソウの繁殖数の増加パターン: 巣箱の付加による野外実験	○峯光一(南西環境研究所), 池田直(岡山大), 山田明代(フジパン), 中村浩志(信州大学), 中堀清, 勝部恭司, 南里敬弘, 三枝誠行(生物多様性研究・教育プロジェクト)
生態	P071	南大東島におけるリュウキュウヒクイナの基礎的生態	○澤田純平, 高木昌興(大阪市立大学・理・動物機能)
渡り	P072	青森県津軽地方におけるガン類の行動観察結果	○見上伸, 高橋雅也(㈱日立パワーソリューションズ), 和田伸久, 魚崎耕平((一財)日本気象協会), 戸谷充雅(くろしお風力発電㈱)
渡り	P073	オオルリとキビタキの初認時期の比較	高木憲太郎(バードリサーチ)
渡り	P074	ガンカモ一斉調査結果を活用したガン類渡来羽数変動要因の検討	○尾原正敬((株)千代田コンサルタント)
渡り	P075	パケット通信端末で把握できるネットワークポロジの基礎知識	○中島功, 北野利彦, 中田薫, 村木能也(東海大学), 秦順一(東海大学, 実験動物中央研究所), 尾崎 清明(山階鳥類研究所)
渡り	P076	福島潟で越冬するオオヒシクイとコハクチョウの食性解明	○向井喜果(新潟大・自然科学), 布野隆之(人と自然の博物館), 石庭寛子(国立環境研究所), 石間妙子(福岡保健環境研究所), 関島恒夫(新潟大学・自然科学)
渡り	P077	出水市におけるツル類の標識確認記録	○原口優子(出水市ツル博物館クレインパークいずみ), 茂原晴代(東干拓ツル保護監視員), 西田智(日本ツル・コウノトリネットワーク), 溝口 文男(出水のツルと野生生物研究会)
行動	P078	愛知県におけるハチクマ幼鳥の学習様行動について	○浅井淳(大同大学・情報)
行動	P079	コアジサシの餌選択性に関する検討	○早川雅晴(植草学園大学)
行動	P080	ヤマガラにおける雛の競争行動と親の餌配分 ―日齢による変化―	○早瀬晴菜, 近藤崇, 肘井直樹(名古屋大・生命農・森林保護)
行動	P081	ヒバリにおける非繁殖期のさえずりの歌構造	○植村慎吾, 江口和洋(大阪市立大学・院)
行動	P082	シジュウカラの鳴き声にみる言語の起源: 統語による情報伝達	鈴木俊貴(総研大・先端科学, 学振SPD)
行動	P083	都市部の農園を利用するスズメの行動と効果	本間幸治(荒川区環境課)
行動	P084	ハシブトガラスの行動追跡にみるGPS-TXの性能評価	○矢澤正人(数理設計研究所・NECoRA), 井上美樹(横国大・理工学), 高橋広和(数理設計研究所・NECoRA)今井金美(㈱シー・アイ・シー), 時田賢一(岩大・農・NECoRA), 内田聖(里山自然史研究会), 西尾真由子(横国大院・都市イノベーション研究院), 樋口広芳(慶応大院・政策メディア), 藤野陽三(横国大・先端科学高等研究院)
行動	P085	GPS-TXによるノスリの行動の3次元データの取得	○時田賢一(岩大・農・NECoRA), 矢澤正人(数理設計研究所・NECoRA), 高橋広和(数理設計研究所・NECoRA), 内田聖(里山自然史研究会), 山田律雄(㈲アル・エス・アイ), 紀國聡, 野口将之(㈱建設技術研究所), 東淳樹(岩大・農)
生理	P086	観光地における給餌による繁殖中のウミネコの栄養状態への影響	加藤由佳, ○新妻靖章(名城大・農), 水谷友一(名古屋大学院), 風間健太郎(名城大・農)
生理	P087	キジ・ウズラのRR間隔と筋電図混入の対策	○中田薫, 北野利彦, 中島功, 秦順一, 田中幸恵, 内藤佳津子(東海大学)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
生理	P088	人工飼育下のカワガラス亜成鳥の摂餌量および体重変化量に対する外部気温の影響	○風間麻未(岐阜県世界淡水魚園水族館), 風間健太郎(日本学術振興会・名城大 農)
音声	P089	複数のマイクロホンアレイによる野鳥の位置観測精度の検討	○松林志保(名古屋大学), 小島諒介(東京工業大学), 中臺一博((株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン, 東京工業大学・大学院), 鈴木麗瑩(名古屋大学・院)
音声	P090	マイクロホンアレイを利用した野鳥の歌行動における時間的重複回避の分析	○鈴木麗瑩(名古屋大学・情報科学・複雑系科学), 近藤崇(名古屋大学・生命農・森林保護), 松林志保(名古屋大学・情報科学・複雑系科学)
病理	P091	タンチョウを取り巻く状況はどのように変わってきたのか	○吉野智生, 飯間裕子(釧路市動物園, 酪農大院・獣医), 平川正詩(環境省釧路湿原RO), 井上雅子(タンチョウ保護研究グループ), 松本文雄(釧路市動物園)
保全	P092	耕作放棄と鳥類群集の関係: 遷移段階と景観構造によってどう変化するか	○片山直樹, 益子美由希, 越田智恵子(農業環境技術研究所)
保全	P093	ブッポウソウの標識調査から見えてきたこと	○黒田聖子(岡山大・院・自然科学), 合田延寿(日本野鳥の会香川県支部), 木村裕一, 坂本明弘(日本鳥類標識協会), 上田均(岡山大・院・自然科学)
保全	P094	風車に衝突死したオジロワシの帰属集団の推定	○白木彩子(東農大・生物産業学部), 杉本太郎(鳥取大・乾燥地研究センター)
保全	P095	季節・時間帯に左右されないヨタカ調査—プレイバック法の有効性	○河村和洋(北大院・農), 山浦悠一(森林総研・植生), 先崎理之, 中村太士(北大院・農)
保全	P096	天売島におけるウミガラスの集団繁殖地の回復への取り組み〜デコイと音声装置による誘因方法の再検討〜	○松井晋(北海道海鳥センター), 竹中康進(北海道地方環境事務所)
保全	P097	鳥類群集データに基づく河川環境類型区分とモニタリング指標種の検討〜岩木川での検討事例〜	○香川裕之(東北緑化環境保全(株)), 東信行(弘前大・院・農学生命科学)
保全	P098	千葉県における外国産鳥類の記録	○桑原和之(千葉県立中央博物館), 箕輪義隆, 三沢博志(千葉市野鳥の会)
保全	P099	四国地域における狩猟鳥の過去20年間の個体数の動向	○佐藤重穂(森林総研四国), 濱田哲暁(東洋電化テクノリサーチ)
保全	P100	エゾシカの超高密度化による植生被害は鳥類相に影響を与えるか-野付風蓮道立自然公園走古丹地区における事例-	○佐藤瑞奈(酪農大院・野生動物保護管理学), 石下垂衣紗(別海町観光公社), 吉田剛司(酪農大・野生動物保護管理学)
保全	P101	外来種カナダガンの現状と今後の課題について	○加藤 ゆき(神奈川県立生命の星・地球博物館), 葉山 久世(かながわ野生動物サポートネットワーク)
保全	P102	江戸時代の北海道におけるツルの生息実態と人との関わり	久井貴世(北大院・文学)
教育	P103	岐阜県内の高等学校と大学に保管されていた戦前の鳥類の本剥製について	説田健一(岐阜県博物館)
教育	P104	姫路科学館に所蔵される小林平一コレクションの鳥類標本概要	○熊代直生(環境科学株式会社), 相楽充紀(姫路科学館)
教育	P105	市民からの情報提供による北海道内のカササギ分布調査	○長谷川理(エコ・ネットワーク), 藤川三博(FRSコーポレーション), 玉田克己(北海道立総合研究機構), 早矢仕有子(札幌大), 森さやか(酪農学園大), 小野理(北海道立総合研究機構), 藤岡正博(筑波大)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
その他	P106	対馬で収容されるアビ類サンプルは黄海の汚染指標になりうるか？ —過去数年間に収集冷凍保存したサンプルのDNA分析による種の同定—	○金子祐希, 森哲(京都大学理学部), 土田修一(日本獣医生命科学大学), 三井一鬼(ノーバウンダリーズ動物病理), 貞光隆志, 西剛(対馬野鳥の会), 越田雄史(対馬動物医療センター), 橋本美幸(長崎県), 三好康子, 山本英恵(NRDAアジア), 植松一良(NRDAアジア, 対馬野鳥の会, 昭島動物病院)
その他	P107	カラス類の侵入を阻止するための網の目合	○吉田保志子, 佐伯緑, 百瀬浩(農研機構・中央農研・鳥獣害)
その他	P108	ヒヨドリノテグスによる侵入阻害効果について	○山口恭弘, 百瀬浩(農研機構・中央農研)
その他	P109	ヒト(鳥研究者)における婚姻形態と子育て—忘れられがちなもう一つの人生—	○堀江明香(バードリサーチ), 川上和人(森林総研), 早矢仕有子(札幌大・法), 東淳樹(岩手大・農), 藤原宏子(人間総合科学大・人間科学), 三上修(北海道教育大学函館校), 水田拓(環境省奄美野生生物保護セ), 佐藤望(立教大・理), 嶋田哲朗(宮城県伊豆沼・内沼環境保全), 植田睦之(バードリサーチ), 牛山克巳(宮島沼水鳥・湿地セ), 吉田保志子(中央農研), 企画委員会
その他	P110	福島県富岡町における鳥類の生息状況について -2014年から2015年にかけての状況報告-	○板谷浩男((株)緑生研究所), 鬼久保正浩(パンフィックコンサルタンツ(株))
その他	P111	北海道羅臼町におけるオオセグロカモメの屋根営巣の現在	○椎名佳の美(知床財団)
その他	P112	日本の鳥の今を明らかにする 全国鳥類繁殖分布調査	○植田睦之(バードリサーチ)

高校生ポスター発表

20日(10:00-12:00)

発表番号	タイトル	発表者
HP01	河川環境の変化と鳥類の関係	○後藤俊矢, 早川徹, 工藤達也, 市川聖佳, 古屋夏鈴(岐阜県立岐阜農林高等学校、指導・福井強志)
HP02	ため池で越冬するカモ類のカウント・行動調査	○長瀬 瑞穂(岐阜県私立鶯谷高等学校)
HP03	宮崎市でのキジバトの繁殖地分布拡大の要因を探る	宝徳光彬(宮崎北高校3年)
HP04	身近な鳥「メジロ」の謎 ―声紋分析でわかったこと―	大坪瑞輝(大阪府立岸和田高校生物部3年), 木下瑛人(大阪府立岸和田高校生物部2年), 大河内衛(大阪府立岸和田高校生物部1年)
HP05	サシバの秋の渡りの飛行戦略 ―由良半島(愛媛県南宇和郡)を例として―	○岡本周樹, ○谷平淳, 松岡朋寛, 尾崎勇飛(愛媛県立南宇和高等学校・自然科学部)
HP06	植物の種子散布戦略と鳥の関係 クスノキは果実サイズと1年枝サイズで鳥を選ぶ!?	○澤本奈々美, ○小澤里保, ○三原郁実, 安田彩里, 山下紗椰(愛媛県立南宇和高等学校・自然科学部)
HP07	里山の生物多様性の評価法の開発Ⅱ 里山の生物多様性の評価には、鳥類、チョウ類を組み合すことが有効か? ―愛媛県愛南町を例として―	○佐藤恵, 武田峻児, 本多真士, 橋本悠平, 安田伊織(愛媛県立南宇和高等学校・自然科学部)
HP08	鳥卵殻膜を用いた機能性材料の開発	○前田千澄, 山村萌衣, 田中美樹(米子工業高等専門学校)
HP09	スズメが食べている砂の量は季節によってどのように変化するのか?	大須賀詩織(兵庫県立長田高等学校・人文・数理探究類型1年)
HP10	ヒヨドリの鳴き声にみられる倍音共鳴に関する研究	梶江里菜, 山本佳奈, 岡本彩花, 白井里依(岸和田高校2年・課題研究生物ゼミ)
HP11	ウグイスのさえずりに見られる多重音声現象の研究	西坂謙吾, 木下瑛斗, 松永彬宏, 森岡祥平, 村西勉治(岸和田高等学校2年・課題研究生物ゼミ)
HP12	ツバメの調査	田崎渚, 福嶋直人, 小阪田悠生, 北浦大樹, 今村拓未, 大塚輝人, 田中健太, 入江祐樹(尼崎小田高等学校・鳥類研究班)
HP13	カワウの観察	北浦大樹, 小阪田悠生, 田崎渚, 福嶋直人, 今村拓未, 大塚輝人, 田中健太, 入江祐樹(尼崎小田高等学校・鳥類研究班)
HP14	武庫川・甲子園浜とオーストラリアゴールドコーストの鳥類観察	小阪田悠生, 北浦大樹, 田崎渚, 福嶋直人, 今村拓未, 大塚輝人, 田中健太, 入江祐樹(尼崎小田高等学校・鳥類研究班)

自由集会

18日(18:00-20:00)

発表番号	会場	タイトル	主催者
W01	C	カワウを通じて野生生物と人との共存を考える(その18)－河川における生息地環境管理－	加藤ななえ(バードリサーチ), 山本麻希(長岡技術科学大学)
W02	D	急速に減少するシマアオジ <i>Emberiza aureola</i> と、その回復方法の模索	シンバ・チャン(バードライフ・インターナショナル東京)

19日(18:30-20:30)

発表番号	会場	タイトル	主催者
W03	A	外来の鳥と生き物を改めて考える	金井裕(日本野鳥の会), 佐藤重穂, 川上和人(森林総合研究所)
W04	B	鳥類への餌やりを考える 第6回 野生鳥獣への餌づけのルール作りの現在とこれから	小泉伸夫(農研機構・動物衛生研究所), 長谷川理(エコ・ネットワーク)
W05	C	鳥好きのためのGIS入門 (その3)	上野裕介(国総研)
W06	D	中国浙江省におけるヒガシシナアジサン <i>Thalasseus bernsteini</i> の繁殖地復元	シンバ・チャン(バードライフ・インターナショナル東京)
W07	E	鳥類の最適な一腹卵数と抱卵行動を考える: 見過ごされてきた制約は何か?	松井晋(北海道海鳥センター), 加藤貴大(総研大・先端科学)
W08	F	砂浜の絶滅危惧種シロチドリ、コアジサシの現状	奴賀俊光(NPO法人バードリサーチ)
W09	G	JOGA第19回集会「ガンカモ類研究者連携の意義と課題: JOGAの課題再整理」	須川恒, 牛山克己, 呉地正行(東アジアネット支援ガンカモ類鳥学者グループ・JOGA)
W10	H	イソヒヨドリはなぜ内陸部へ進出するのか ・・・大阪・東京地方でのようすからその実態に迫る	和田 岳・粕谷和夫・川内博(都市鳥研究会)

展示

会場	展示内容	主催者
311	商品の展示・販売	株式会社 数理設計研究所
311	商品の展示・販売	公益財団法人 日本野鳥の会
311	商品の展示・販売	株式会社 キュービック・アイ
311	商品の展示・販売	栃木屋工房
311	商品の展示・販売	株式会社 ぎょうせい

※発表・自由集会のタイトルは参加申込書を反映したものです。